

# 車屋せぎ・崖下せぎ

## 湧水が育むせぎの生きものの人々の暮らし



車屋せぎ・崖下せぎは、松本市生物多様性地域戦略で設定された8つのモデル地区の一つです。

島内地区を流れる車屋せぎ・崖下せぎは湧水を起源としていて、きれいな水の指標となる生きものが生息しています。地元住民や協議会などにより周辺の農地を含めた環境整備が実施されています。



バイカモ（車屋せぎ・崖下せぎを象徴する水生植物）

車屋せぎと崖下せぎは、湧き水（湧水）を水源とする水路です。湧水は年間を通して水量や水温が比較的安定しているため、地域の農業や暮らしを支える大切な水として利用されてきました。



車屋せぎ



崖下せぎ

### せぎの水質

湧水由来なので年間を通じて水温の変動は小さい。pHは中性、DOは年間通じて飽和に近い値、電気伝導度は河川上流の基準値からはやや外れています。

車屋せぎ・崖下せぎの通年の水質

水温 (°C)	8 ~ 18
pH	6.9 ~ 7.1
DO (mg/L)	8.5 ~ 11
電気伝導度 EC (mS/m)	11 ~ 14

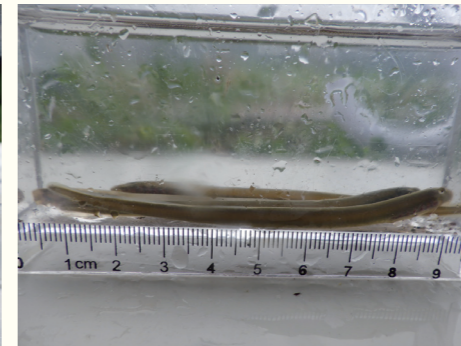
# 多様な生物が共存するせぎ

水田や畑の中を流れるせぎなので、湧き水などの貧栄養な水質を好む生物や水田などの富栄養な水質を好む生物などが混在し共存していて、多様性に富んだ環境が維持されています。

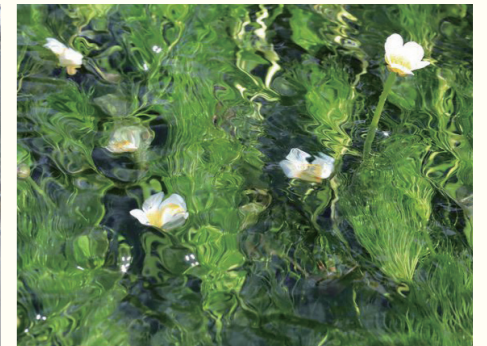
### ■湧き水など貧栄養な水質を好む水生生物



カジカ



スナヤツメ



バイカモ

### ■水田など栄養分の豊富な水質を好む水生生物



ドジョウ



モノアラガイ



ミゾソバ

## 今後の課題（侵入生物）

せぎの中やせぎ沿いには、特定外来生物や生態系被害防止外来種などの侵入生物も見られます。土手の草刈りやせぎ内の草取りなども行われていますが、侵入生物の分布拡大にはなかなか追いつきません。



オオカワジシャ  
特定外来生物



オオハンゴンソウ  
特定外来生物



コカナダモ  
生態系被害防止外来種